

1 学期 終業式 校長講話

それでは校長先生から 1 学期終業式のお話をします。

まず、1 学期の 4 か月、みんなほんとうによくがんばりました。この 1 学期も再びコロナに振り回され、たくさんのがまんをしなければならない日々がつづいてしまいましたが、「元気な笑顔」で頑張ってくれている子どもたち、つまり、みなさんのように、校長先生はずいぶんと励まされる思いでした。先生たち・事務職員さん・管理作業員さん・給食調理員さん、みんな同じ思いだったのではないでしょか。みなさんは、自分が子どもなのでピンとこないかもしれません、「子どもたちの元気な笑顔」は、たくさんの人を励まし幸せな気持ちにします。「元気な笑顔」をたくさんくれてほんとうにありがとうございます。校長先生は、みなさんの「元気な笑顔」がもっと増えるように、みなさんの「元気な笑顔」を曇らせることがないように、先生たちと一緒に頑張っていくぞとあらためて強く思います。

とはいって、みなさん 1 人 1 人にとっては、「元気をなくしてしまうな」「笑顔でなんかいられないよ」というようなできごとも、この 1 学期にあったかもしれません。

- 勉強がぜんぜんわからない---とか。
- 友達とけんかをしてしまった---とか。
- 嫌がらせ・いじめをされた---とか。
- 逆に、嫌がらせ・いじめをしてしまって後悔している---とか。
- お家で心配なことがある---とか。

1 学期の間にあったそんなできごとがすでに解決しているのならそれでよいのですが、まだ解決していないできごとがあるのなら、夏休みの間に解決をして、「元気な笑顔」で 2 学期を迎えるようにしてください。自分で考えたり努力をしたり、お家の人に相談したり、夏休み中も誰か先生は学校に来ていますので先生に相談をしたり---みんなのたいせつな「元気な笑顔」が曇らないようにしましょう。

嫌がらせやいじめについては、この 1 学期、校長先生からみなさんに 2 度お話をしました。校長先生自身も心を痛めたできごとです。残念ながら、いくつかの心配なできごとが起きました。

大人向けの文なので、みなさんはきっと読んでないと思いますが、実は昨日配った PTA だよりにそのことについて考えた文をのせています。「心づかい」や「思いやり」、「温かいおこない」や「優しいおこない」が、どの学年でもどの学級でもいつもあたりまえのように見られる学校でありますように。そうなれば、嫌がらせやいじめなんて、きっと恥ずかしくてする気にならないと思う。そんなことを書きました。校長先生の正直な気持ちであり願いです。

さあ、いよいよ夏休みです。35 日間の長い休みです。この後、生活指導の先生のお話がありますが、健康と安全に気をつけて、ぜひ、時間に余裕のある長い休みにしかできないことにチャレンジしてください。

この夏休みには東京オリンピックもあります。今週金曜日が開会式。明日からさっそくソフトボールやサッカーの試合が始まります。コロナのせいで、日本中の誰もが賛成しているオリンピックではないかもしれないけど、またとない貴重な機会であることは間違いないかもしれません。この日のためにすごい努力を重ねてきた選手たちの熱い戦いを観ることができます。きっとほんものの感動がたくさんあるにちがいありません。「ほんまに会場で観たかったわ」と思います。テレビでですが、みなさんにぜひたくさん観戦してほしいと思います。きっとほんものの感動に心がふるえるはずです。

以上で、1 学期終業式、校長先生のお話を終わります。2 学期始業式にみなさんの「元気な笑顔」に再会できることを楽しみにしています。